

## 1. 評価結果概要表

作成日 平成21年1月6日

## 【評価実施概要】

事業所番号	1270901588		
法人名	有限会社 ぐるうぷほうむ礎		
事業所名	ぐるうぷほうむ礎		
所在地	千葉県船橋市行田3丁目2番22号 047-406-8184		
評価機関名	NPO法人 ヒューマン・ネットワーク		
所在地	千葉県船橋市丸山2丁目10番15号		
訪問調査日	平成20年12月25日	評価確定日	平成21年1月13日

## 【情報提供票より】(平成20年11月1日事業所記入)

## (1) 組織概要

開設年月日	平成14年8月1日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	17 人
職員数	16 人	常勤12人, 非常勤4人, 常勤換算	14 人

## (2) 建物概要

建物構造	鉄筋コンクリート 造り		
	2階建て	1~2階部分	

## (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	50,000 円	その他の経費(月額)	円	
敷金	有(円) 無			
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(300,000円) 無	有りの場合 償却の有無	有 / 無	
食材料費	朝食	400 円	昼食	600 円
	夕食	750 円	おやつ	円
	または1日当たり 1,750 円			

## (4) 利用者の概要(11月1日現在)

利用者人数	17名	男性	9名	女性	8名
要介護1	0	要介護2	1		
要介護3	3	要介護4	8		
要介護5	5	要支援2	0		
年齢	平均 84.5歳	最低	61歳	最高	95歳

## (5) 協力医療機関

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

ぐるうぷほうむ礎は理念中心に優れた運営をしている。憲法や介護保険法の徹底理解のもとに「看取りは居宅で、家族と共に・・・能力を出し合い・・・自然体で・・・介護者は利用者のピカピカの鏡に・・・」と独自の理念を掲げ、「人の命を暖かい2本の手で守る」と覚悟を決めて、妥協することなく実践している。職員は常に理念と対峙して自己の責任を自覚して支援をしており、ホーム長や管理者と常に話し合っている。職員重視で運営されており、命を守る技術と心がまえを重視する。建物・設備にあまり投資せず、介護報酬の大半を職員報酬に充てている。また医療の支援体制が優れており、利用者は安心して過ごしている。ターミナルケアが充実しており、家族の支援も温かく実施されている。

## 【重点項目への取組状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)
	<p>前回の主な改善課題は地域との連携強化であったが、併設小規模多機能型居宅介護の開設の機に、2ヶ月1回、運営推進会議が開催し、また高齢者交流ルームを設置し、地域の関係者と意見交換が活発に行われ相互理解が進んだ。</p> <p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>年一回の外部評価を職員は日常の仕事を反省する機会と捉え、緊張感を持って自己評価に取り組んでいる。今回7つの項目を一層よりよいサービスを目指して課題としてあげている。</p>
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)
	<p>2ヶ月1回地域の自治会、民生委員、ご家族はじめ関係者の方参加により実施され、運営理念・目的・実績などの報告、地域の方から地域ニーズ、当事業所への要望など意見交換されサービス改善に活かされている。</p>
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)
	<p>家族には2ヶ月1回の運営推進会議と行事など含めてほぼ毎月訪問の機会があり、事業所の考え方や暮らしがよくなる報告されている。また希望・要望・困ったことの相談などよく対応されているので、不満は出る前に解決されている。また外部第三者に相談できる窓口は契約時説明し周知徹底している。</p>
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	<p>地域の方との窓口とも言える高齢者交流ルームを設置し、地域の方が自由に交流できる場を提供し、また相談等に応じている。また自治会、商店会との交流を大切に、イベントやお祭りに利用者が無理のない関</p>

協力医療機関名	南浜診療所
---------	-------

わりが出来るように努めている。
-----------------

## 2. 評価結果（詳細）

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>理念に基づく運営</b>					
<b>1. 理念と共有</b>					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	法（憲法や介護保険法）の徹底理解のもとに、独自の理念「看取りは居宅で、家族と共に・・・能力を出し合い・・・自然体で・・・介護者は利用者のピカピカの鏡に・・・」を掲げ実践している。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	職員は理念と対峙して活動しており、ホーム長、管理者と常に話し合っている。一人ひとりが責任を持って、毎日理念の実践に努めている。		
<b>2. 地域との支えあい</b>					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地域の方との窓口とも言える高齢者交流ルームを設置し、地域の方が自由に交流できる場を提供し、また相談等に応じている。また自治会、商店会との交流を大切に、イベントやお祭りに利用者が無理のない関わりが出来るように努めている。		高齢者交流ルームが多くの高齢者の方が気軽に立ち寄り、交流の場としてより多く活用されるよう期待したい。また地域のニーズをより多く把握し、地域に役立つ場となるように期待したい。
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	独りよがりにならないように、外部評価を、日常活動の反省の機会と捉え、職員全員が緊張感を持って評価を活用している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>2ヶ月1回地域の自治会、民生委員、ご家族はじめ関係者の方参加により実施され、運営理念・目的・実績などの報告され、また地域の方から地域ニーズ、当事業所への要望など意見交換されサービス改善に活かされている。</p>		<p>運営推進会を通じて、当事業所のサービス向上のみならず、地域の高齢者ニーズを踏まえた地域サービス向上に役立つように期待したい。</p>
6	9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>地域の高齢者が安心して生活が続けられるように、併設事業所である小規模多機能型居宅介護や訪問介護、居宅介護支援と共に、市とは連絡を取り合い利用者の自立支援に努めている。</p>		
<b>4. 理念を実践するための体制</b>					
7	14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>家族は2ヶ月1回の運営推進会議と行事など含めてほぼ毎月訪問しており、事業所の考え方や暮らしぶりの報告を受けており、アンケートでも「懇談会」でよく報告を受けていると回答されている。</p>		
8	15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>常時家族とは連絡をとり、要望を察知し未然に対応しているので、不満が出ることはほとんど無い。要望・不満は未然に解決する方針である。また外部第三者に相談できる窓口は契約時説明し周知徹底している。</p>		
9	18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>訪問介護など他事業所と人事交流することが有るが、異動の場合、馴染みの職員と新職員のプラス面が、利用者との共同生活に活かされるように配慮している。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>5. 人材の育成と支援</b>					
10	19	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>職員の育成は理念と対峙して、現場実践により、チームの職員との話し合い、ホーム長・管理者と話し合い、実践を通して育成している。技術の向上、観察力と記録、心がまえを重視し、利用者を鏡として妥協することなく理念を実践する中で育っている。</p>		<p>介護技術、コミュニケーション技術など基礎技術を網羅的なチェック表にして、技術向上に役立てているが、網羅的チェックが必要な職員と不要な職員がいると思われるので、誰でも何時でもチェックが必要な項目を別途選定することが望ましい。</p>
11	20	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>地域の連絡協議会に参加し、地域密着型サービスの役割など話し合い、サービス質の向上に努めている。また利用者の希望に沿って事業所の紹介などしている。</p>		
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>利用者個々の受入れ状況に合わせて、面会を重ね、職員は一生懸命「相手の話をそのまま」受入れ、自然に徐々に受け入れて頂けるように努力している。</p>		
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>24時間生活変化シートに利用者本人の心と身体の状態を記録し、利用者本位で、自然体に関わり、お茶を飲みながら楽しんで来たことや人生観など話を聞き、共に普通の生活が出来るように心がけている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>利用者本位で個別に意向の把握に努め「利用者の言葉をそのまま受ける」ことを重視している。受け入れて頂けない場合はボタンタッチし、本人の意向中心に落ち着いた暮らしが出来るように努めている。</p>		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>本人の意向や家族の意向を中心に、アセスメント情報に基づき、皆で話し合い、疾患、食事、水分補給、排泄を基本として「命」を守り「落ち着いた生活」が出来るように介護計画を立てている。介護職一人ひとりがホーム長の分身として責任を自覚して計画作成している。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>重度の方が多く介護計画はその日の状況に対応し、柔軟に最適な対応をしている。その意味では毎日が見直しとも言える。柔軟な利用者本位の計画といえる。基本計画の見直しは職員全員の観察結果の話し合いによりタイムリーに行われている。</p>		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>引き受け先のない極度の困難事例でも出来る限り受け入れる方針であり、現在空いている部屋を使って、受け入れ先の決まらない方を緊急に受け入れ、多機能性を活かした柔軟な支援をしている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
18	43	<p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>医療（かかりつけ医・専門医・病院）入居者・介護支援専門職・介護職・ホーム長の位置づけを明確にし、各自のなすべき事を明確にしている。かかりつけ医とは信頼関係が高く、記録は入居時から全ての出来事が克明に記録されており、適切な治療が受けられる体制を作っている。</p>		
19	47	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p>重度化した場合やターミナルケアの方針については入居時に話し合い同意を得ている。ホーム長が医師でありまた医療連携が良いので利用者や家族また職員も医療的な対応には安心できる体制である。全スタッフが「尊厳の保持」を認識しながら看取りに取り組んでいる。また看取りで終わりではなく、残された家族の看取りの受け入れに時間をかけて支援している。</p>		
<b>. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
<b>1. その人らしい暮らしの支援</b>					
<b>(1) 一人ひとりの尊重</b>					
20	50	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>利用者の個人情報保護は徹底されており、リスクに対する備えも十分されている。特に外部見学者等から利用者のプライバシーを守ることは配慮している。また内部では職員相互で利用者の尊厳を守る注意を喚起している。</p>		
		日々のその人らしい暮らし	基本的な一日の流れは計画されているが、		

外部 評価	自己 評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期 待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
21	52	職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	入居者一人ひとりの生活のリズム・ペースを大切にして、本人の希望・意見を尊重し、その日の体調・気分配慮しながらその人に合わせた生活の組み立てをしている。買い物に一人で行く方には、遠くから見守るため柔軟な組織運営体制で可能にしている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	<p>食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>健康維持のため医師、栄養士の管理のもとで、栄養バランス、カロリー1600、塩分7グラム以下、カリウム補給、水分補給など「命」を守る万全の管理がされている。一人ひとりの心身状況に対応した「健康を守る食事」を本人・家族の納得の上で提供している。</p>		
23	57	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>	<p>入浴は毎日可能であり、個別性を重視して希望の時間に入浴して頂いている。入浴拒否に対しては無理強いせず、上手に声掛けして誘導している。介助は交代で入浴時の観察が偏らないように均一な介護の実践に努めている。</p>		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	<p>役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>	<p>一人ひとりが「自分らしく、心身共穏やかに暮らせる」ことを中心に、持てる機能（五感含め）の活用への支援をしている。また家族アンケートでは本人の生き生きした表情が8割弱の方が見られると回答している。</p>		
25	61	<p>日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している</p>	<p>買い物、散歩など外出支援のため、スタッフの業務に「その日の外出担当」を設け、いつでも外に出て行ける体制を構築している。</p>		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	<p>鍵をかけないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる</p>	<p>「身体拘束ゼロへの手引き」の抜粋を貼り常に目指している。鍵は日中は一切の施錠をせずお互いの目配り・気配りで、自由な生活を支えている。外に出る方がいる場合も阻止せず、遠くからの見守りで対応している。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	<p>年に一度消防署の協力、指導を得て防災訓練を行っている。消防署の防災管理責任者研修にも参加している。毎月全職員が参加して避難訓練を行い、毎日の散歩の機会を避難訓練と想定して、入居者の混乱を最小限に抑える訓練を実施している。</p>		<p>地域の団地管理組合や商店街の防災訓練と連携して地域として防災体制を強化することが望ましい。</p>
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>1600カロリーの献立で、栄養のバランスを配慮し、また状態に応じて高カロリー補助食品を活用するなど個人別に細かく対応している。水分量は毎日記録して把握している。入居者の疾患別注意事項も職員間で情報共有され、禁食に注意して個別に対応している。</p>		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>季節の花をきらさず飾り、テレビや音楽を楽しめる機器が整備され、お茶など自由に飲めるように準備し、室内は整理整頓され、狭い空間ながらも生活感を感じる環境である。既存の建物を利用しているので段差もあつたりするが、安全に細部を工夫している。</p>		
30	83	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>本人や家族と相談しながら馴染みの置時計や寝具を持ち込むなど、本人が疎外感を持たないように配慮しながら居心地よく過ごせる居室作りをしていく意向である。</p>		

は、重点項目。

WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票（様式1）を添付すること。